

未知なるゲノムを創り出し世界に貢献！

ゲノム工学を駆使する研究とは？

ノーベル賞を受賞した大村博士は、微生物から寄生虫を駆除する抗生物質を発見し、多くの命を救いました。「応用微生物学」は自然界に生息する微生物の能力を人間生活に役立たせる学問。一方「工学」とは自然界にない人工物やシステムを創り出す学問。この定義に従えば、携帯電話、車などの無機物だけでなく、遺伝子、細胞など有機物も工学の対象です。従来の応用微生物学は微生物の分離による研究が主でした。しかし、近年は、生物が持つ全遺伝情報である“ゲノム情報”が容易に得られるようになり、「微生物を工学する」ための多様な技術が発展してきました。私は、清酒の醸造やパン製造に使われる酵母のゲノムを対象に、自然には存在しない酵母菌を創り出す「ゲノム工学技術」の開発に力を入れています。これまでの技術では創ることができなかった酵母菌を育種して産業に貢献する研究、ゲノムの未知なる機能を発見し、科学の発展に貢献する研究です。ゲノム工学で創成した酵母菌が基礎、応用の両面で世界を救う日を夢見ています。



生物生命学部 応用微生物工学科 原島 俊 教授



崇城大学

SOJO UNIVERSITY

薬学部	生物生命学部	工学部			情報学部	芸術学部			
薬学科	応用微生物工学科	応用生命科学科	機械工学科	ナノサイエンス学科	建築学科	宇宙航空システム工学科	情報学科	美術学科	デザイン学科

〒860-0082 熊本市西区池田 4-22-1

問い合わせ(入試課直通) TEL:096-326-6810

そうじょう大学 検索